

「やまがた環境保全型農業推進計画」(案)の概要

令和7年3月14日
農林水産部

- 【計画の位置付け】 「第5次農林水産業元気創造戦略」の実行計画、並びに「有機農業の推進に関する法律」に基づく都道府県有機農業推進計画「やまがた・人と環境に優しい持続可能な農業推進計画」(令和4～6年度)、「山形県有機農業推進計画」(令和元～5年度)を統合し策定
- 【計画の期間】 令和7年度から令和10年度(4年間)

■6年度までの計画の実績と主な課題

1 特別栽培

特別栽培農産物認証面積 (ha)

	現状値(R1)	R4	R5	目標(R6)
指標値	14,836	16,000	16,400	16,836
実績値		14,555	14,633	—
実績-目標	▲2,000	▲2,281	▲2,203	—

- ・R1に比べ203ha減少。目標を2,203ha下回る。
- ・特別栽培は環境保全型農業直接交付金の要件となっており、同交付金を活用した促進が必要。
- ・気候変動による病害虫、雑草の発生の変化に対応しながら、化学肥料、化学合成農薬の使用削減技術の開発が必要。

2 有機農業

有機農業取組面積 (ha)

	現状値(R1)	R4	R5	目標(R6)
指標値	609	874	961	1,050
実績値		695	726	—
実績-目標	▲441	▲355	▲324	—

- ・R1に比べ117ha増加。目標を324ha下回る。
- ・有機農業に取り組む農業者の育成が必要。
- ・「水稲」「そば」の取組が多いため、他品目での取組みの促進が必要。

有機認証農家数 (戸)

	現状値(R1)	R4	R5	目標(R6)
指標値	117	167	183	200
実績値		130	129	—
実績-目標	▲83	▲70	▲71	—

- ・R1に比べ12戸増加。目標を71戸下回る。
- ・認証の表示による他との差別化や生産物への信頼性確保によって消費が拡大すること等、認証を取得するメリットの啓発が必要。

3 GAP

国際水準 GAP 認証件数 (件)

	現状値(R1)	R4	R5	目標(R6)
指標値	36	42	46	50
実績値		45	50	—
実績-目標	▲14	▲5	0	—

- ・R1に比べ14件増加。1年前倒しで目標達成。
- ・GAPは経営を改善し、また農業の持続性を確保する取組であるため、普及と認証取得を推進。
- ・生産者並びに実需者、消費者の理解促進と、認証取得への財政的、技術的支援が必要。

■基本方針

本県において農業生産における環境負荷を軽減し持続可能な農業を実現するため、有機農業及び特別栽培の拡大に向けた施策を推進する。併せて、食品安全、環境保全、労働安全等に関するリスクを管理し、農業生産の持続性を確保するGAP(農業生産工程管理)の普及拡大を図る。

■目標指標及び重要業績評価指標

【目標指標】

目標指標	現状値(R1)	目標値(R10)
環境保全型農業直接支払交付金の取組面積の割合(延べ)	5.8%	6.8%
(参考)同取組面積	6,616ha	7,700ha

- ・県は有機農業、特別栽培+環境負荷低減技術の一段高い取組みを推進することから、それらの対象となる環境保全型農業直接支払交付金の取組面積を目標指標とする。

【重要業績評価指標(KPI)】

評価指標	単位	R5 (現状値)	R7	R8	R9	R10 (目標値)
有機農業面積割合 (参考:同取組面積)	% (ha)	0.64 (726)	0.74	0.80	0.85	0.90 (1,022)
有機認証農家数	経営体	129	157	172	186	200
特別栽培面積割合 (参考:同取組面積)	% (ha)	12.9 (14,633)	13.3	13.6	13.8	14.0 (15,890)
みどり認定農家数	経営体	66	1,000	2,100	2,100	2,200
GAP認証件数(新規、4か年累計)	件	12	3	7	11	15

■推進方向と具体的な取組み

推進方向1 環境保全型農業の取組みの推進

1 有機農業の推進

- 有機農業の新規参入・担い手の確保
 - ・「有機農業実践講座」や「有機農業の匠講座」による技術指導【新規】
 - ・有機農業オープンフィールドを活用した技術の普及
 - ・有機農業者団体との定期的な意見交換による連携の強化
- 有機農業の取組拡大
 - ・国庫補助事業(オーガニックビレッジ事業等)の活用
 - ・オーガニックビレッジ取組市町村間の意見交換会【新規】
- 技術開発等による有機農業の品目拡大と省力化
 - ・品目の拡大に向けた技術や省力化技術の開発とマニュアル作成
 - ・「そば」「酒米」等、有望品目のJAS認証取得の促進【新規】

2 特別栽培の推進

- 特別栽培認証面積の拡大
 - ・環境保全型農業直接支払交付金の活用による取組みの促進
- 化学肥料及び化学合成農薬の使用削減技術の開発
 - ・気候変動による病害虫等の発生の変化に対応した技術開発及び普及

3 みどり認定の推進【新規】

- ・認定取得に向けた環境負荷低減事業活動の農業者への指導と環境保全型農業直接支払交付金の取組みへの誘導

4 土づくりの支援

- 国庫補助事業を活用した土づくりの促進
 - ・土づくりに取り組もうとする農業者への情報提供及び事業の目標達成に向けた指導
- 全国推進組織への参画による情報収集
 - ・試験機関による現地調査の実施と現場への成果情報の提供

推進方向2 持続可能性を確保するGAPの取組みの推進

GAPの推進

- GAPの普及及び認証取得の啓発
 - ・取組み易いGAPである「やまがたGAP」を活用した農業者への指導
 - ・GAPの基礎研修会並びに認証取得に向けた研修会の開催
 - ・農業教育機関の学生や新規就農者に対する講義の実施
- 国際水準GAPの認証取得支援
 - ・認証審査の費用や必要な機器の整備を支援する事業の実施【新規】
 - ・認証取得に関する技術的な指導を行う普及指導員等の資質向上

推進方向3 消費者・実需者の理解促進と販路拡大

環境保全型農業及びGAPに関する消費者、実需者の理解促進と販路拡大

- 環境保全型農業に関する理解促進と販路拡大
 - ・生産者が対面販売を行うマルシェの実施(県内、首都圏)【一部新規】
 - ・ホームページ、SNS等による環境保全型農業の理解や有機農業実践者等に関する情報発信
 - ・「みえるらべる」等を活用した取組みの「見える化」の促進【新規】
 - ・学校給食等を通じた環境保全型農業の理解の促進
 - ・環境保全型農業の取組みに関し優良な農業者を顕彰するコンクールの開催
- GAPに関する理解促進と販路拡大【新規】
 - ・ホームページ、SNS等によるGAPの理解や取組農業者等に関する情報発信
 - ・GAPの取組みに関し優良な農業者を顕彰するコンクールの開催